



東京音楽大学  
THE UNIVERSITY OF MUSIC  
TOKYO

東京音楽大学 大学院・付属民族音楽研究所 主催

Lesson    Lecture

実技と講義で学ぶ社会人のための音楽講座

# 民族音楽等 社会人特別講座



## 箏



流派の違いに捕らわれず、受講者の希望を取り入れつつ、新しいチャレンジを含めた幅広い作品の個人レッスンです。またグローバルな視野で箏を奏することで「日本の音・精神」を探り、次世代の音楽を考える機会と致します。



内藤 久子：ないとう ひさこ

東京音楽大学音楽科卒業 邦楽演奏コース修了。流派やジャンルを超えて、古典・現代作品・テレビ番組出演・音楽祭等の録音・劇場公演を含む演奏活動を行い、ボランティアコンサートも好評を得ている。声楽・琵琶歌・声楽の発声や息遣いに基づいた「歌城」(カゲン) 絵に合わせた歌うこと)に取り組み、また音楽・声楽・スティーヴン・ハーモニカ等多様なコラボレーションで独自の表現を追求している。主に音楽教育者・学生を対象とした「日本の音」の様々な講座を企画・実施し講義を行っている。

古典曲、古典合奏を中心に、邦楽特有の〈間、ノリ、ユルミ〉を習得します。同時に〈音〉の響きを意識し、余韻を重ねていく事により、自分の音で音楽を表現できるようになります。邦楽にとどまらず、洋楽にも視野を広め、邦楽との共通点、相違点を実感する事も大切な事です。様々な音楽に触れながら箏を学びましょう。



滝田 美智子：たきた みちこ

1968年より野村謙吾氏に師事。1976年より日本音楽集団に入団し演奏活動を開始(10年在籍)。NHK邦楽技能者育成会2期修了。1981年東京音楽大学卒業。在学中に第3・4回J・M・J・クワフェスティバル邦楽器コンクール独奏部門1位・1位受賞。現在までに二十五歳事によるリサイタルを5回開催。主に二十五歳事の演奏活動の他、東京音楽大学、国立音楽大学、桐蔭学園芸術短期大学講師、オーケストラアソシアソリスト、生田清志高校の実合講師、日本二重協会、生田清志協会会員。

## 尺八



江戸時代から伝わる虚無僧音楽、特に海童道、横山勝也の流れを汲む古典本曲が学べます。全ての尺八音楽の原点である古典本曲は海外でも注目を集めており、近年、外国人愛好者が増えています。



神野 香：かきさかいかおる

青山学院大学理工学部物理学科卒業。横山勝也に師事。17回NHK邦楽技能者育成会卒業。第三回香林校記念全国邦楽コンクール尺八の部第1位。シャルル・デュワ、岩城定之助揮のNHK交響楽団と武満徹作曲「ノヴェンバー・ステップス」共演。小澤征爾「バスデーコンサート」に武満徹作曲「エクソパス」で出演。第三回ビクター邦楽技能者オーディション合格。現在、東京音楽大学講師、NHK文化センター講師。

# 三味線



長唄三味線の基礎から始める古典曲目を中心にしたレッスンで、正しい三味線の奏法・演奏を学べます。しっかりとした基礎の骨組みの上に、新しい創造を広げていきます。



杉浦 孝夫：すぎうらたかお（芸名：梓屋五三郎）

長唄三味線奏者。1975年より芸術院会員・人間国宝（3）世界屋五三郎に師事。1987年東京芸術大学音楽科卒業。同年、東京音楽大学に勤務。2001年国立劇場歌舞伎公演「鬼神」の立三味線を務める。以後、中村勘三郎、福地、橋之助、轟九郎、七之助らの歌舞伎公演においても立三味線を務める。数回諸国での海外公演（1993～2011）に参加。現在、東京音楽大学講師、朝日カルチャーセンター、東京府セミナー講師、長唄「杉の妻」同人、社団法人長唄協会会員。著書に「和楽器教本 三味線：文化と楽器と演奏練習」（2006年）がある。



菊地 大：きくち 大たか（芸名：梓屋五三吉次）

昭和63年、二世梓屋五三吉次に師事。平成9年東京芸術大学入学。平成11年三世梓屋五三郎より、梓屋五三吉次名を許される。平成13年、東京芸術大学卒業。在学中、海軍員、アカンサス音楽賞受賞。

# 琵琶



琵琶にはいくつかの種類がありますが、本講座では薩摩琵琶系5絃5柱、鶴田流琵琶が習えます。楽器の演奏だけでなく、平家物語り等の弾き語りも含めて学ぶことができます。



田中 之雄：たなか ゆきお

鶴田流琵琶奏者。1971年NHK音楽技能者育成会18期卒業。1979年日本琵琶コンクール第一位ならびに文部大臣賞・日本放送協会賞受賞。古典曲のほか武蔵野作品をはじめ現代曲の演奏を国内外で行う。2010年にはニューヨーク・カーネギーホールにて、レノヴェンバース・ステップスと共演。NHK大河ドラマ「坂本武蔵」「加藤清正」「花の乱」「勝つてくれ」、映画「恋空」「恋空」の音楽監督、「加藤清正」「どろろ」などの琵琶を担当。CD「MOOREAM」「勝つてくれ」「琵琶」「勝つてくれ」「琵琶 田中 之雄」を発表。東京音楽大学講師 日本琵琶協会常任理事。

## リュート、ビウエラ、バロックギター



本講座ではルネサンス・リュート、バロック・リュートの基礎的な奏法が学べます。リュート音楽の歴史的背景を学び、奏法の変遷、ヨーロッパ各国の楽曲や文献についても図書館所蔵資料に基づいて研究するなど、基礎的知識を踏まえてリュート音楽を理解し演奏していきましょう。



坂崎 則子：さかざきのりこ

東京藝術大学大学院音楽研究科修了。在学中にデボラ・ミンケン氏よりリュートを学ぶ。エリザベス朝リュート音楽についての博士論文提出。西洋音楽史、教材研究などの講義で、ルネサンス・リュート、バロック・リュートの音楽について実技を交えながら授業を行っている。現在東京音楽大学教授、付属図書館館長。

この講座では、リュート属全般<sup>(10)</sup>が学べます。楽器の構造やメンテナンスについても理解して、各楽器の演奏法だけでなく、各時代特有の装飾法、数字付き低音の読み方などを習得します。受講者は、本学図書館所蔵の多数の楽譜から選曲して、技術向上を目指せます。さらに、希望者は他の楽器とのアンサンブルや歌の伴奏も学べます。03(45)21027-1111#8、03(45)21027-1111



水戸 茂雄：みとしげお

リュート属（リュート、テオルボ、ビウエラ、ルネサンス/バロック・ギター）演奏家。スペインに留学し国立オスカル・エスプラ音楽院、マドリード王立音楽院に学ぶ。これまでに「リュート教科書」3巻、「バロック・リュート作品集」などを出版し、CDを多数録音している。同時に楽器制作も手がけている。東京音楽大学非常勤講師。国内外で、リュートの第一人者として演奏活動を行っている。日本ビウエラ協会理事、NAS古楽器研究会主宰。

## リコーダー



## 教養コース

リコーダーに入門するための、基本テクニックが学べるクラスです。リコーダーの甘く愛らしい音を通じて、その音楽の広く深い味わいを求めていきます。

## 研究コース

ルネサンス・リコーダーによるアンサンブルのクラスです。ルネサンス時代の舞曲やアンサンブルに用いる楽器の音色や音域、および指使いなどの演奏テクニックが学べます。簡単なソナタを演奏できる方が受講できます。

# チェンバロ

チェンバロという楽器を正しく理解して、高度な演奏法を学びます。  
チェンバロの演奏を通じて、西洋古楽の神髄を極めてみましょう。  
初心者の方は別途ご相談ください。



渡邊 順生：わたなべよしお

ピアノを専攻。チェンバロを小林道夫らに師事。1973年、アムステルダム音楽院にてチェンバロをグスタフ・レオンハルトに師事。1977年最高実習賞付ソリスト・ディプロマを得て同音楽院を卒業。更にプリ・ダクセランスを受賞した。その後欧州各地にて演奏活動を行ない、1980年に帰国。以来、古楽演奏の啓蒙と普及に努め、精力的な演奏活動を展開し、チェンバロ、フォルテピアノ、クラヴィコード奏者及び指揮者として活躍。2010年度サントリー音楽賞受賞。上野学園大学客員教授、及び東京音楽大学、国立音楽大学、利根学園大学講師。



坂出理：ばん ゆり

東京藝術大学作曲科卒業。  
古楽研究会にてチェンバロ、通奏低音の研究を積み、作曲を石川真生氏、チェンバロを横山元子の各氏に師事。04年、チェンバロのための「Prelude」により、アメリカのアシメール作曲賞佳作受賞。06年、スペインの古楽フェスティバルFMATにて演奏会、共演者として「バイアーナ」チェンバロ独奏本邦初Orpheusその他、国立音楽大学研究所研究員、東京藝術大学音楽科伴奏助手を経て、聖グレゴリオの東京音楽研究所講師。

# チェロ (バロック時代の)

この講座で学ぶチェロは現代のものとは違う楽器です。バロック時代の楽器にはエンド・ピンがありません。両足でしっかりと支えて演奏します。弦の数は4本で同じなのですが、弦の幅が広くガット弦で出来ています。弓もしなりがやや弱く軽いものです。数々の賞を受賞し国内外で活躍している、日本を代表する講師による新講座です。

鈴木 秀美：すずきひでみ

国内外でチェリスト、指揮者として活躍。オーケストラ・ソプラノ・クラリネットを兼修。アルチ・デラルコ・レーベル他から数多くのCDをリリース。文化庁芸術家育成賞、サントリー音楽賞、読売音楽メモリアル基金賞等を受賞。東京芸大音楽科講師、山内文筆楽団首席奏者兼指揮者。新巻に「古楽版」よさ4歳、「ガット・カフェ」「動物音チェロ組曲」。



写真：KAWAZU

## 月琴



17世紀から18世紀に長崎へ伝えられ、日本でも人気を得た明楽と清楽の代表的な楽器、月琴を学びます。講座では、幕末・明治時代に日本で製作したもの、またはこれらを復元したものを使用します。月琴を弾きながら演奏する唄も習えます。中国にルーツを持ち、日本でも一定の人気があった音楽について、実践しながら学びましょう。



相見 憲七：いなみけいしち

富山県魚津市出身。尺八を鶴山会で郡山流を学び、二胡・胡弓・地響三弦を福岡芸術音楽研究所で学ぶ。月琴奏法は長谷川敏幸氏より学ぶ。明治音楽館に勤められ長谷川氏と共に明治音楽史料を精力的に収集。2004年には福岡芸術音楽学元演奏研究会の依頼により、長崎（長崎）・月琴・四胡・胡琴を製作。伊藤加津先生が遺された明治音楽器と昭和音楽器の共通性を見出し、昨年公開講座「伊藤加津の遺した楽器～明治音楽器を聴く～」で講師を務める。

## 二胡



日本でも人気の中国伝統楽器、二胡の基本的なテクニックと、代表曲が習得できます。教養コースでは基本から初めて、この楽器の特徴的な演奏法まで学べます。研究コースでは少し難しい曲を選択して、地域による演奏方法の違いなども学べます。曲例を通して、総合的な演奏技術と音楽表現法を習得できます。



劉敏紅：リュウ・ケイコウ

国立中国音楽学院及び中央音楽学院卒業。中国音楽学院音楽教授・首都師範大学音楽教授・二胡専任公認審査員。2000年9月上海市人民政府より「荣誉證書」を受ける。中国電影出版社オーケストラのコンサートマスター兼ソリストに就任。1987年に東京日東芸術大学を経て東京音楽大学で作曲家伊藤加津氏に師事。「少林寺」「西遊記」など100本以上の映画音楽の制作・演奏に参加。CD：「水滸歌歌」(1996)、「中国の美音」(1995)、「宮廷舞臺の世界」(2000)、劇伴にピアノ「劉敏紅の二胡入門」(1996)、「劉敏紅の二胡奏法」(1996)など多数。

## トンコリ



アイヌの伝統楽器トンコリ(5弦ハープ)を中心にしながら、アイヌ文化の様々な伝統音楽を学びます。トンコリを伴奏として使う歌も学ぶことで西洋音楽と異なる考え方に触れて、「音楽」とは何かを考えてみましょう。



千葉 伸彦：ちばのぶひこ

神奈川県出身。演奏家・民族音楽研究者。プロの音楽家として演奏や楽曲提供などを行う中、北海道演奏旅行中にアイヌ音楽に出会い1989年以降北海道各地の伝承者を訪ね、歌謡などを習得。1996年よりアイヌ音楽の論文等を発表。現在は研究活動の他、アイヌ音楽伝承者へのインストラクターやアイヌ民族公演のゲストとして招聘されることも多い。著作 財団法人アイヌ民族博物館より「西平ワメとトンコリ」(2000)、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構より「小説文楽録、西平ワメ演奏・解説によるトンコリ演奏法」(2007)

## 馬頭琴



民話「スーホの白い馬」を通じて日本人にも有名なモンゴル伝統楽器の演奏を基礎から丁寧に学び、モンゴル文化に触れます。馬頭琴独特の演奏法を身につけながら、実力に応じた楽曲が演奏できるようになります。



美炎：mho

幼少期よりバイオリンを始める。16歳で馬頭琴と出会い、馬頭琴の国家一級演奏家チ・ブルグッドに師事。その演奏を馬頭琴の人間国宝チ・ボラグに認められ、モンゴル馬頭琴アンサンブル最高峰、野馬アンサンブルの主要メンバーとして中国国内、モンゴル、台湾で演奏を重ねる。NHK交響楽団等、国内一流オーケストラの奏者との共演の他、ロック、ポピュラー音楽、民族音楽のミュージシャンとも数多く共演。現在までにオリジナル曲中心のアルバムを4枚リリース。プリンセスクルーズでのレクチャー演奏、栃木県の山の郷土での演奏会は毎年好評を博し、メディアでも数多く取り上げられている。千葉市文化振興財団登録アーティスト。

## コムズ



キルギス共和国の伝統楽器コムズは、あんずの木をくり貫いて作った三弦楽器で、船を漕ぐオールに似た形をしています。まるで小さな鳥が飛びまわるような、かわいらしい右手の動きに特徴があります。本講座では、基本的な演奏を身につけられます。上級者になれば、この楽器を自由に操り、アクロバットの演奏ができます。



ウメトバエワ・カリマン：Umetbaeva Kalyman

キルギス共和国ピンケク出身。三弦楽器のコムズ、金属口琴、木製口琴などの楽器の演奏家。キルギス国立音楽大学で民族音楽を専攻。卒業後、音楽教師としてピンケク第65番学校で子供たちにコムズなどの民族楽器を教える。ピンケク日本センターで日本語を学ぶ。2003年東京芸術大学音楽研究科に入学し、2010年修士課程修了・2013年度楽理科博士号を取得。現在、同大学の楽理科教育研究助手。

## シタール



**教養コース**  
調弦や右手の基本で始まり、初歩的な曲が弾けるようになります。

**研究コース**  
レベルに合った即興的演奏が学べます。インド音楽の神髄を味わいながら、インドらしい音楽表現を楽しみましょう。



小日向英俊：こびなたひでとし

1980年国立音楽大学楽理科卒。1987年インド国立パナラス・ヒンドゥー大学大学院（音楽学専攻）修了（M.Phil.）。1977年よりスシュマ・オマタ、1982年よりクリシュナー・チャクラヴァルティにシタールを師事。東京音楽大学、青山学院大学、国立音楽大学、洗足学園音楽大学講師。世界音楽をテーマとした講義と実習を担当。シタール演奏、執筆などを行う。1993年よりインド音楽演奏グループ、パナラス・ミュージック・サークル主宰。2005年、ソロ・アルバム『月明かりの下で Under the Moonlight』をリリース。また、講義作曲でマルコポーロ3号の現代作品にも関わる。

## 口琴&amp;のどうた

アジア・ヨーロッパ・太平洋地域各地の口琴音楽や、アジア中央部などの喉歌(倍音唱法)を学べます。倍音をうまく活用する様々な現象や楽器に触れることで、まったく新しい音楽の世界が広がります。詳細はご相談ください。



高川 礼緒：ただがわれお

1999年金沢出身。1984年タンザニア・ドドマ地区の村に住み、ゴゴ族の大型縦笛ピアノ『イリン』を習得。日本口琴協会代表、国際口琴協会理事。ロシア連邦サハ共和国をはじめ、ブルウェー、オーストリア、アルタイ共和国など口琴フェスティバルや民族音楽シンポジウムに参加。口琴奏者国際公演の企画・制作も多数実施。2011年第1回国際口琴大会(サハ共和国)コンテストで、9名の「世界口琴名人」の一人に選ばれる。CD：「西北列島 見聞録(全4巻)」(2011)、著作：「口琴のむびく世界」(2005)など。

## 各種民族太鼓

立つ座るなど日常生活の所作から生きること総てに、人それぞれが持つリズム感が溢れています。その基本動作が作り出すリズム感に気が付き、解放された響きとは、リズムの本質とは何かを様々な民族打楽器をとおして学び、更には前向きな発想、生命力の根源にまで迫っていきます。



有賀 誠門：あるがまこと

幼少よりヴァイオリンとピアノを学ぶ。東京藝術大学打楽器科卒業。NHK交響楽団主要打楽器奏者として18年間活躍する傍ら、ソリストとしてN響、東フィル、都響、読響などと多数協演。打楽器音楽や現代音楽の初演を数多く行い、ロシア・ヨーロッパ・アメリカ・東南アジアなどでも活躍。東京藝術大学と東京音楽大学の教授として長年後進の指導にあたる。国際コンクール審査員・指揮者・プロデューサーとしても活躍。各地でリズムセミナーを実施。最近、音楽療法分野での活動も多く、ダウン症の子供達との協演も行う。



若林 忠宏：わかばやしただひる

1970年代中学生の頃よりインド音楽から世界の民族音楽の探求を始め、高校一年の時、地産(ルゴ)でのシタールの初演を皮切りに日本初の民族音楽演奏家となる。世界各地に数十人の師匠を持ち、世界各地の民族楽器を蒐集しながら約300種の楽器を巧に演奏し、インド、東南アジア現地放送局や大使館等での数多くの演奏を披露した。今日までにCDを90枚リリースしている。著作物としては「民族楽器を愛しよう」「世界の師匠は十人十色」「アラブの風と音楽」「もっと知りたい世界の民族音楽」等があり、岩波書店から「世界の民族音楽入門書」も出版されている。また「嵐定説」「類名の無い音楽会」「タモリ倶楽部」などTV出演も多い。



※写真はイメージです



## ガムラン



ジャワ島のガムラン音楽が体系的に学べます。レッスンでは習得の難しい楽器・パートも個人レッスンで練習でき、個々のニーズに合った指導が受けられます。他分野とのコラボレーション、社会との接点など、より多角的な視点でガムランの可能性に触れます。



木村佳代：きむら かよ

東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。在学中よりガムラン音楽を学び、その後インドネシアに渡り、2007年インドネシア国立芸術大学(スラカルタ校)にて更に研鑽を深める。1997～2001年、東京音楽大学社会人講座「ガムラン音楽教室」非常勤研究員。2010年より同大学非常勤講師。ガムラングループ「ランパンサリ」代表。NPO法人日本ガムラン音楽振興会理事。长年にわたり演奏活動、公演企画、指導に携わる。著作に、「インドネシア芸術への招待 音楽・舞踊・演劇の世界」(同業)がある。

ガムランの青銅打楽器10種類及びクダング(太鼓)が一通り演奏できて、合奏の指導ができるレベルを目指します。



樋口なみ：ひくち なみ

東京音楽大学出身。在学中より日本ガムラン教育の第一人者、佐藤まり子女士よりガムラン音楽の指導を受ける。以後定期的にスラカルタ校に渡り王宮や国立芸術大学教室等よりガムランを学んだ後、演奏活動を行う。1997～2007年東京音楽大学民族音楽研究所非常勤研究員。2010年より同大学非常勤講師。1999年「ジャワガムラン スラカルタ編1/日」(4枚組CD、DVD)の共同研究協賛制作に参加。NPO法人日本ガムラン音楽振興会理事。

## ジャワ舞踊

ジャワ島の伝統舞踊における女性舞踊を中心としながら、優型の男性舞踊も学べます。ゆったりとした下に向かう動きが中心となる舞踊の練習を通して、ガムラン音楽の「拍」と舞踊の深い関わりを学び、生のガムラン演奏といっしょに群舞の楽しみが体験できます。



新井すぐり：はりう すぐり

東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。大学在学中より、田村定子氏に師事。スラカルタスタイルのジャワ舞踊を学ぶ。1997年～2000年STS0005インドネシア芸術大学スラカルタ校舞踊科在籍。2001年より東京音楽大学社会人講座ガムラン・ジャワ舞踊講師。同大学非常勤講師。2008年より田村定子氏主宰のガムランスタジオ音工場にて舞踊講師を務める。



民族音楽、邦楽及び古楽（以下「民族音楽等」という。）を学ぼうとする社会人が、本学社会人特別講座における個人レッスン（含アンサンブル）で楽器・舞踊の実技を学ぶ。また、この講座が提供する通年の講義を受けることにより、広く総合的で高度な知識を獲得していく。講座で扱う音楽の、実践と理論の両面から総合的理解を深める機会を提供することで、広く地域・社会に還元することが本講座の主旨である。

### 1. コース

本講座は、以下の二つのコースに分かれている。  
各コースとも、楽器の個人レッスンと世界の音楽に関する講義で構成されている。

- 1) **教養コース**：原則としてレッスンを受ける楽器の初心者を対象とするコース。
- 2) **研究コース**：原則としてレッスンを受ける楽器の経験があり、自らの演奏技術をより高めたい方を対象とするコース。

### 2. 募集人数

各コース15名程度

### 3. 受講期間

1年間

### 4. 開講時間

個人レッスン：年間25回、1回40分。担当教員と個別に相談の上詳細を決定する。  
講義：年間20回、1回80分。火曜日18:30～19:50

### 5. 受講について

- 1) 各コースは単年度で修了する。  
受講者は、当該コースのレッスンの受講受講を完了した際に、演奏認定試験を受けることができる。  
演奏および講義において課せられるレポートが、当該年度で定める水準に達した者に、修了証を発行する。
- 2) 受講者が同一コースの再受講を希望した場合は、1回に限りこれを認める（再受講の場合、受講料のみ必要）。
- 3) 在籍年数は各コースとも2年とする。例：教養コース2年・研究コース2年

### 6. 申込資格

社会人、または本学付属民族音楽研究所が認めたる者

### 7. 申込手続き

- 1) 受講希望者は下記の書類を一括して、本学所定の封筒で「書留速達」で郵送すること。  
普通郵便及び直接持参は受理しない。
- 2) 申込書提出後、東京晋大送付の振込用紙を利用し、審査料10,000円を期限内に納入すること。

必須書類など		記入要項など
1)	申込書	所定用紙に記入する。氏名は戸籍と同一のこと。写真添付。
	履歴書（申込書裏面）	所定用紙に記入する。音楽専攻は高等学校以降、修めた教師名、及び指導を受けた楽器名を記入する。
2)	面接票	所定の用紙に記入する。写真添付。
3)	面接票返信用封筒（申込者、用票）	受講者の住所、郵便番号、氏名を明記し、672円（簡易書留・速達郵便料）の切手を添付すること。（申込者に面接票を返信する封筒）
4)	志望理由書	所定の用紙を使用。

注意事項 ○いったん提出した書類、審査料は理由の60%にかかわらず返還しない。  
○申込書受付後、希望コースで決った場合、面接時に相談し変更することができる。  
○身体に障がいがあり、面接上特別な配慮が必要な場合は申込時に付属民族音楽研究所事務局に申し出ること。  
※申込書等に記入された個人情報は、本講座に関する業務以外には使用しない。

### 8. 申込期間

第1回募集：平成28年2月8日（月）～2月22日（月） ※締切日消印有効（窓口では換わず、郵送受付のみ）  
第2回募集：平成28年3月10日（木）～3月24日（木） 面接票は募集終了後、2日以内に見送ります。

### 9. 申込先

東京音楽大学付属民族音楽研究所  
〒171-0032 東京都豊島区祖師谷3-11-1 Tel. 03-3981-8783

### 10. 面接について

**教養コース**：面接（志望理由等）  
実技（自らの得意とする楽器を用いて自由曲1曲を演奏。受講希望楽器以外の楽器でもよい。なお面接演奏では楽器は貸与しない。）  
**研究コース**：面接（志望理由等）  
実技（受講希望楽器による自由曲1曲を演奏。なお面接演奏では楽器は貸与しない。）

### 11. 面接日時

第1回募集：平成28年3月12日（土）14:00 ※詳細（集合時間、集合場所等）は応募状況等により決定する。  
第2回募集：平成28年4月5日（土）18:00 後日、面接票とともに面接日程を郵送する。

### 12. 受講の決定

受講決定者には、手続き上必要な書類を面接日当日に配付する。

### 13. 受講料

受講決定者は、受講決定日から5日以内に登録手続き書類を民族音楽研究所に提出し、受講料を銀行振込にて納入すること。

※納入した受講料は納入後受講を辞退した場合も返還しない。

コース	受講料(税込)
教養コース	280,000円
研究コース	280,000円
終了演奏会費	10,000円

### 14. 手続き書類

- (1) 誓約書 1通 (本学指定用紙)
- (2) 氏名・現住所を確認できる書面 (運転免許証・健康保険証など) 1通 (コピー)
- (3) その他 (受講手続き案内参照)

- ※ 学生納付書簿 (学割) は適用されない。
- ※ 個人レッスンの日程は、要修日もしくはその直後に調整する。
- ※ 開講日・講義日程は受講決定日に配布する。

### 15. 当該講座担当教員

民族楽器	月琴	短見巻七	邦楽器	箏	滝田美智子、内藤久子
	トロンコリ	千葉伸彦		三味線	杉浦孝夫、菊池大
	二胡	新 耀紅		琵琶	田中2雄
	尺八	美央		尺八	杉野 香
	コムズ	ワメトバエフ・カリマン	古楽器	リコーダー	未定
	シタール	小日向英徳		チェンバロ	渡邊 規生、坂 由理
	コル・カタ・カタ	西川礼緒		コントラバスの心	坂崎利子、水戸茂雄
	各種民族太鼓	有賀加門、若林忠宏		サ・カタ・カタ	水戸茂雄
	ガムラン	木村佳代、樋口なみ		チェロ・Violin・Viola	鈴木 秀美
民族舞踊	ジャヴ舞踊	新生すくり	講義	小日向英徳、木村佳代、樋口なみ、内藤久子	

※ここに表記していない楽器は、平成28年度は開講いたしません。  
※上記の講師と共にアシスタント講師が毎週にあたる場合があります。

### 16. カリキュラム

#### 教養コース

授業科目	単位数
語学実習 (初級)	年間25単
世界音楽入門	年間20単
終了演奏会 (費用: 10,000円)	1回
学外実習 (海外見学) (実費)	1回
オプション: 研修旅行 (実費)	1回 (終了後2週間以内の受講者のみ)

#### 研究コース

授業科目	単位数
語学実習 (中・上級)	年間25単
世界音楽入門	年間20単
終了演奏会 (費用: 10,000円)	1回
学外実習 (海外見学) (実費)	1回
オプション: 研修旅行 (実費)	1回 (終了後2週間以内の受講者のみ)

#### 2016年度講義カリキュラム

第1回 導入 (世界音楽)	第11回 世界の音楽7: 南アジア-2
第2回 世界の音楽を知る	第12回 世界の音楽8: 西アジア-1
第3回 世界の音楽を知る	第13回 世界の音楽9: 西アジア-2
第4回 世界の音楽を学ぶ	第14回 世界の音楽10: アフリカ
第5回 世界の音楽1: 東アジア-1	第15回 世界の音楽11: 欧州-1
第6回 世界の音楽2: 東アジア-2	第16回 世界の音楽12: 欧州-2
第7回 世界の音楽3: ユーラシア	第17回 世界の音楽13: 中央アジア-1
第8回 世界の音楽4: 東南アジア-1	第18回 伝統と創造
第9回 世界の音楽5: 東南アジア-2	第19回 音楽と生活
第10回 世界の音楽6: 南アジア-1	第20回 総括

※ 講義内容に変更がある場合があります

本講座は、楽器演奏のエキスパートによる**個人レッスン**と、  
 多様な講師陣による**共通レクチャー**で構成する、社会人対象の音楽講座です。  
 演奏を習得する「習う」と知識を深める「学ぶ」により、様々な音楽の**総合的な学び**を提供します。  
 本講座では、世界の音楽の中から日本やアジア、欧州の古い時代の音楽が学べます。

## 邦楽器

### 古楽器

リュート チェンバロ  
 ビウエラ ギター  
 チェロ(バロック時代)  
 リコーダー

尺八 琵琶  
 箏 三味線

### 民族舞踊

ジャワ舞踊

### 民族楽器

トンコリ 二胡 口琴  
 馬頭琴 月琴 コムズ  
 シタール ガムラン  
 各種民族太鼓

受講者は、該当コースの受講を完了した際に、演奏認定試験を受ける事が出来ます。  
 演奏が一定の水準に達した受講者には、修了証を発行します。

	募集人数	履修期間	共通レクチャー	個人レッスン	受講料 <small>税込</small>
教養コース	15名	1年間	80分×20回	40分×25回	¥280,000
研究コース	15名	1年間	80分×20回	40分×25回	¥280,000

※ 申込期間・試験日・試験科目は、募集要項をご覧ください。

### 申し込み日程/教養コース・研究コース

#### 第1回募集

申込期間：平成28年2月18日(月)～2月22日(月)  
 面接日：平成28年3月12日(土) 14:00

#### 第2回募集

申込期間：平成28年3月10日(木)～3月24日(木)  
 面接日：平成28年4月5日(火) 18:00



東京音楽大学 大学院  
 東京音楽大学付属民族音楽研究所  
 171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5  
 TEL.03-3981-8783 FAX.03-5950-1831

<http://www.minken1975.com/>

地下鉄副都心線：池袋駅有楽町線出口(千鳥橋スポーツセンター)より徒歩7分、1番出口より徒歩5分  
 池袋駅：池袋東口より徒歩12分

